



平成26年度文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

地域の民話伝承者とともにごどもたちが民話を学ぶ事業「語り・学ぼう!むがしっこばなし!」

主催 宮城県ミュージアム復興事業実行委員会(東北歴史博物館・みやぎ民話の会) 協力 利府民話の会

民話
を
深
め
よ
う



平成27年1月17日(土) 13:30 ~ 16:00

会場 ● 東北歴史博物館3階 講堂

お問い合わせ ● 東北歴史博物館情報サービス班 TEL022-368-0106

入場
無料

事前申込不要

**こどもが語る
民話にふれる**

13:30~14:00

話者 庄司 宏知(ひろと)くん(塩竈三小1年)
武山 湖春(こはる)さん(城南小4年)
藤田 桃歌(ももか)さん(多賀城小5年)
蝦名 奏夢(りずむ)さん(片平丁小6年)

民話講演会 14:00~16:00

演題 民話・かげの主人公「屁」について
—青森・山形・福島の語り手を迎えて—

講師 小野 和子氏(みやぎ民話の会顧問)

話者 成田 キ又ヨ氏(青森県) 渡部 豊子氏(山形県)
五十嵐 七重氏(福島県)

東北歴史博物館
TOHOKU HISTORY MUSEUM

民話を 深めよう

尻



宮城県をはじめ東北地方では多くの民話が語り継がれてきました。こうした民話に子どもが触れて学ぶために、当館では今年度4週にわたり、小学生に「民話を話そう」という体験講座を実施しました。その体験生の中から4人の小学生が民話を披露します。

つづいて、みやぎ民話の会顧問の小野和子先生から、「民話・かげの主人公『尻』について—青森・山形・福島の語り手を迎えて—」と題したご講演をいただきます。東北各地のすぐれた語り手をお迎えして、「尻つたれ嫁」や「尻っぴり爺」などの民話を聞きながら、語り継がれてきた背景などを考えてみたいと思います。

小野先生のお話しを通して、「尻」にまつわる民話を持つ多様性や奥深さをみなさんと共感できればと願っています。

講師紹介

おの かずこ
小野 和子氏



昭和9年、岐阜県高山市に生まれる。東京女子大学日本文学科卒業。県内を中心に民話の探訪、記録活動を行う。昭和51年にみやぎ民話の会を発足、現在同会の顧問。隔年で「みやぎ民話の学校」を開催。編著書は『宮城県の民話』（偕成社）、『長者原老嫗夜話』（評論社）、『みちのく民話まんだら』（北燈社）、『七ツ森周辺の民話』（日本民話の会）、『みやぎ民話の会叢書』第一集～第十三集（みやぎ民話の会監修）ほか。

●民話の語り手

なり た きぬよ
成田 キヌヨ氏



昭和7年、青森県中津軽郡西目屋村砂子瀬に生まれる。現在、同県十和田市に住み、十和田市の公的施設を中心として各地で民話を語っている。

わた べ とよこ
渡部 豊子氏



昭和17年、山形県新庄市(旧最上郡萩野村)に生まれる。現在、同市に住み、新庄ふるさと歴史センターや学校などで民話を語っている。新庄民話の会会員。

い が ら し ななえ
五十嵐 七重氏



昭和21年、福島県大沼郡金山町沼沢に生まれる。現在、同郡三島町に住み、JR郡山駅構内の「おぼあちゃんの民話茶屋」などで民話を語っている。全会津語りの会副会長。



東北歴史博物館
TOHOKU HISTORY MUSEUM

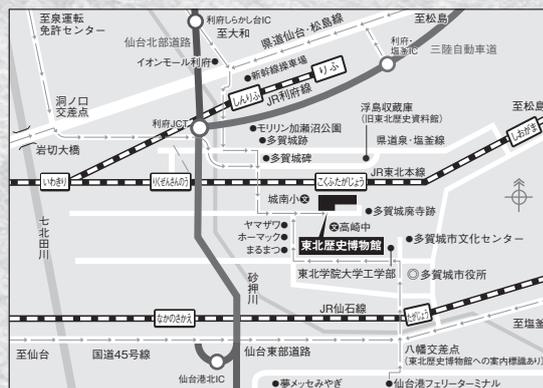
〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)
ホームページ <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>
Eメールアドレス thm-service@pref.miyagi.jp
TEL 022-368-0106

交通のご案内

- JR線をご利用の方
JR東北本線(仙台駅から14分)「国府多賀城駅」隣り
JR仙石線 「多賀城駅」下車 徒歩25分
- お車をご利用の方
仙台東部道路「仙台北IC」から約10分
国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
仙台港フェリーターミナルから15分
無料駐車場(191台・大型バス10台)

お問い合わせ・お申込み先

東北歴史博物館 022-368-0106



この印刷物は再生紙を使用しています。

